

センター行事メモ

●外国人研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
17. 9.25～10. 1	Dr. Gerald Hearth Lander ヨーロッパ超ウラン元素研究所	ASR-WYP-2005へ参加及びアクチノイド化合物の中性子散乱実験に関する研究討論
17. 9.25～ 9.30	Dr. Joe David Thompson ロスアラモス国立研究所	ASR-WYP-2005へ参加及びプルトニウム化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.25～ 9.30	Dr. Recharad Haire オークリッジ国立研究所	ASR-WYP-2005へ参加及びプルトニウム化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.24～ 9.30	Dr. Stuart Brian Wilkins ヨーロッパシンクロトロン放射線施設	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.26～ 9.30	Dr. Gertrud Elizabeth Zwicknagl ブラウンシュヴァイク工科大学	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.23～ 9.30	Dr. Nick Bernhoeft フランス原子力庁	ASR-WYP-2005へ参加及びウラン化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.24～ 9.30	Dr. Franck Henri Wastin 欧州共同研究センター 超ウラン元素研究所	ASR-WYP-2005へ参加及びウラン化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.25～ 9.29	Dr. Philipp Gegenwart マックス・プランク研究所	ASR-WYP-2005へ参加及び量子臨界現象の実験的研究の今後の協力について議論
17. 9.26～ 9.29	Dr. Dariusz Kaczorowski ポーランド科学アカデミー低温構造研究所	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.26～ 9.30	Dr. Keith Alistair McEwen ロンドン大学	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.26～ 9.30	Dr. Pieter Meeuwes Oppeneer ウブサラ大学	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.25～ 9.30	Dr. Jean-Pierre Sanchez フランス原子力庁	ASR-WYP-2005へ参加及び希土類化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.25～ 9.30	Dr. Jean-Pierre Sanchez フランス原子力庁	ASR-WYP-2005へ参加及び希土類化合物の物性研究の今後の協力について議論
17. 9.26～ 9.29	Dr. James Lawrence Smith ロスアラモス国立研究所	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17. 9.26～ 9.29	Dr. Peter Thalmeier マックス・プランク研究所	ASR-WYP-2005へ参加及び講演
17.10. 4～10.22	Dr. Eddy Lelievre-Berna ラウエ・ランジェヴァン研究所	先端的偏極中性子散乱実験装置の非弾性散乱制御用ソフトウェアのテスト実験
17.11. 2～11.10	Dr. AROKIASAMY Joseph Francis ブルックヘブン国立研究所	刺激因子との相互作用解析による生命応答ダイナミックスの解明研究に関する討議

17.11.10~11.11	Dr. Patrick HAUTLE ポールシェラー研究所	中性子小角散乱実験用動的核スピン偏極装置に関する技術的アドバイス及び講演
17.12. 6~12. 7	Dr. Yuri MELNICHENKO オークリッジ国立研究所	中性子散乱を用いたソフトマター科学の研究に関する講演及び議論

●基礎科学セミナー

回	年月日	講演者	開催テーマ
288	17.10.31	安岡 弘志 (先端基礎研究センター)	核磁気共鳴の物質科学及び医学への応用 -アクチノイド化合物の磁性と超伝導を中心として-
289	17.11.11	Patrick Hautle (ポールシェラー研究所)	Dynamic nuclear polarisation and its application to neutron science
290	17.12. 7	Yuri Melnichenko (オークリッジ国立研究所)	Recent SANS studies of soft matter and status of new SANS machines at ORNL
291	17.12.14	間所 秀樹 (理化学研究所)	非等方ニュートリノ輻射を伴う重力崩壊型超新星爆発の2次元数値シミュレーション
292	18. 1.10	簇野 嘉彦 (先端基礎研究センター)	「光子、電子と物質との相互作用—電離、励起、解離—」及び「基礎研究の重要性と応用・社会との接点—諸研究機関、大学等を取り巻く昨今の状況を踏まえて—」